

[ホーム](#) > [記事INDEX](#) > [安全大会](#) > サカモト美装安全大会 VR体験で意識高揚／安全作業の重要性再認識

安全大会

[一覧](#)

サカモト美装安全大会 VR体験で意識高揚／安全作業の重要性再認識

2026年07月08日（水）安全大会 安全大会



坂本社長挨拶



サカモト美装安全大会の様子



VRで労災体験

(株)サカモト美装と協定会・志友会が3日、サンスパおおむら総合事務所で2026年度安全大会を実施。同社ならびに協力企業から約35人が参加し、VRを活用した労働災害体験や安全講話を通してゼロ災害への意識を新たにしました。

坂本剛志代表取締役は、25年度のゼロ災害達成に謝意を示した上で、「慣れた仕事ほど危険が潜んでいる」と指摘。「今年も暑くなりそうとの予報が出ており、体調管理・熱中症と併せて事故がないよう気を付けてほしい。ご安全に」と述べた。

また、志友会・猪村栄一会長（(有)IMURA）の代理として、(株)サカモト美装の辻史生総務部長があいさつ。不安全行動に対する厳正な姿勢を示し、「一人一人の意識をしっかりと高めてほしい」と呼び掛けた。

大会では、「安全の第一歩は健康管理から」をテーマに掲げ、諫早労働基準監督署の安全講話のほか、太陽建機レンタル(株)によるVR体験、安全表彰および安全の誓いを実施した。

このうち、VR体験では足場墜落災害をはじめ、前向き転倒や電源盤感電など、10個の労働災害事例を仮想体験できるとして、参加者全員が体験し安全作業の重要性を再確認した。表

彰では、技術表彰にKunugi(株)の吉岡一也氏、安全表彰に(有)鉄屋クレーンの鉄屋清一氏を選定し、賞状などを手渡した。

安全の誓いには、マエセ防水の高木遼氏が立ち、「(株)サカモト美装の作業所に関するすべての者は、安全で健康な職場形成を最重要課題として積極的な労働災害防止活動を第一に掲げ、相互に協力し合い安全作業を推進する」と述べ、5S活動や正しい作業手順など4事項を徹底することを宣言した。

最新の地域密着情報をキャッチ

建設業界のNEWSをすばやくお届け

建設業界が急速に変化するなかで安定的な情報を確保することが可能です。

[新聞購読のお申込み](#) [詳しくはこちら→](#)

島原雲仙ドローンスクール 国土交通省登録講習機関 一等・二等無人航空機操縦士 受講生募集中

ドローン

国家資格を取るならココ

※「建設新聞を見た」で割引あり

斜面を守り、くらしを守る

特殊法面掘削機

(株)藤総建 NETIS 登録技術 QS-190004A

一人ひとりの輝く未来のために。

有限会社 一電設

For the future when each one shines

長崎県の利用実績 NO.1 一般社団法人長崎県建設業協会 長崎県官工事業協同組合連合会 推奨 情報共有システム

ASPer

デンノウエスパー 電納

建設新聞デジタルサイト

よくある質問

「ログイン?」「掲載はどこ?」「会員登録は?」

注目情報

2026年7月31日更新

- 西海地区水産基盤整備、国が採択／マイナス3万坪壁等、概算34億／初年度は測量設計、対馬市が主体
- 大村・鈴田川広域河川改修事業／県が新規着手、概算116億／計画延長5.8km、河道拡幅など
- 小長井学園の校舎・屋内運動場／全3工種で分離発注／諫早市が公告、9月中旬に開札
- 東彼杵町工業団地開発事業／大和ハウスと基本協定／約20億整備、30年度以降完成
- 九州地整国土交通行政功労表彰／県内から16人・社が受賞／22日に福岡市で表彰